



TITLE:

大学図書館界の動き 近畿地区国公立大学図書館協議会

AUTHOR(S):

CITATION:

大学図書館界の動き 近畿地区国公立大学図書館協議会. 静脩 1977, 14(1): 7-7

ISSUE DATE:

1977-06

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/36765>

RIGHT:

National Union Catalog, Pre 1956 Imprints について

かねて、部局から購入の希望が出されていた上記の目録を、附属図書館に備え付けることになった。

米国議会図書館 (Library of Congress) をはじめ、米国、および、カナダの主要研究図書館等、約 800 館が所蔵する蔵書のうち、1955 年以前に出版された文献についての情報を収録した、世界でも珍しい雄大なスケールの総合目録である。米国議会図書館と、米国図書館協会の協力によって、1968 年以来、Mansell 社より出版が開始されたが、はじめの計画によると、毎年、約 60 冊 (1 冊は 704 頁位から成る) ずつ出版を続け、10 年がかりで全 610 巻を完結する予定であった。完結すれば、米国、カナダのみならず、ヨーロッパやアジア等、世界の各地で出版された単行書、パンフレット、雑誌、地図帖、楽譜など、約 1,300 万タイトル (参照を含む) に達する文献を収録することになる。また、その分野も、自然、人文、社会科学等、全域に及ぶ。中には、すでに、絶版になっている図書や、稀有の貴重書も散見される。それらの文献を所蔵する図書館名も記号によって記

載されている。したがって、目指す文献が、本学や、日本国内に所蔵されていない場合には、この目録を検索して、見出せば、その文献の所蔵館に複写を依頼することも出来る。

このたび本館に備え付けられたのは、Vol. 1～484 であるが、そのうち Vol. 53～56 の 4 冊は、膨大な量にのぼる“Bible”の部分を掲載するため、出版がおくれている。しかし、ここ 2、3 年のうちにその分をも含めて、全巻が購入されれば、すでに本館が収蔵している“National Union Catalog”1958～1962；1963～1967；1968～1972 の各 5 年累積版や、1973、1974、1975 の各 1 年版、および、その後の月刊、季刊の各号をあわせて、米国の全国所蔵目録は最近のところまで、すべて本館に揃うことになる。なお、1958—1962 の 5 年累積版は、内容的には、1956—1962 の 7 年累積版であって、Pre-1956 年版を継ぐものである。

この目録は、整理課事務室 (一階、目録カード室の隣り) に備え付けていますから、どなたでも利用できます。

大学図書館界の動き

近畿地区国公立大学図書館協議会

○ **図書館施設研究集会**：4 月 27 日 (木) 大阪女子大学附属図書館の施設研修を行った。同館は堺市内に昭和 51 年 5 月 31 日に竣工された鉄筋コンクリート 4 階建ての近代的建物であり、利用対象の学生数は全部で 700 名であるが、視聴覚室や貴重書庫も備えた機能的な図書館である。当日は近畿地区の大学図書館から 15 館約 50 名が参加し、館内見学の後、熱心な質疑応答があり、盛会のうちに散会した。

○ **総会**：5 月 25 日 (水) 姫路工業大学附属図書館を当番校とし、姫路市市民会館において当協議会の総会が開かれた。近畿地区の国公立大学図書館の館長・事務 (部) 長および文部省からの出席を得て、約 70 名が参加した。前年度の事業報告およ

び文部省の昭和 52 年度文部省予算資料による大学図書館主要事項の説明の後、今年度の当協議会の活動方針について協議した。今年度の主な方針は次のとおりである。

- 1) 統計委員会は終了するが、当協議会としてその成果は文部省および日本図書館協会に送り、利用してもらうように依頼する。
- 2) 機械化委員会は継続する。
- 3) 施設研究集会は実施する。
- 4) 講演会は実施する。
- 5) 館長懇談会は大阪地区で実施する。
- 6) 主題別研究集会は法律系について最初は準備会的なものを開く。
- 7) 来年度の総会には近畿地区私立大学の代表をオブザーバーとして招く。